

市民との意見交換会実施報告書

開催日時	令和6年2月9日(金曜日)14時30分～16時30分			開催場所	市役所3階委員会室	
出席議員	氏名	役割	氏名	役割	氏名	役割
	佐藤 昌哉	座長	南波 純	撮影・記録	菅井 巖	議会だより
	工藤 博	司会	富樫 正毅	受付		
	本間 新兵衛	記録	阿部 寛	会場設営		
欠席議員	なし					
テーマ	「本市の未来を見据えた工業団地について」					
団体等の名称	鶴岡中央工業団地管理組合理事長 鶴岡東工業団地連絡協議会会長代理 鶴岡鉄工団地管理組合組合長理事・櫛引工業団地振興会会長 鶴岡大山工業団地連絡協議会会長				参加者数	5人
実施内容 (概要等)	「本市の未来を見据えた工業団地について」をテーマとして、 1. 工業団地の現状と課題について 2. 工業団地の将来展望について 3. 鶴岡市に望む施策等について を意見交換の主題として現状把握、課題の整理、課題解決の方策等について話し合いを行った。					

※主な意見及びその回答は、別紙のとおり

令和6年9月2日

鶴岡市議会議長 様

産業建設班 代表者 佐藤 昌哉

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	選択理由等（自由記載）
<p>【雇用関係について】</p> <p>① 人手不足が工業団地立地企業の課題である。</p>			○		<p>・ <u>企業人材育成に係る支援事業や高校生対象のセミナーなどの人材確保・育成支援事業について</u></p> <p>庄内産業振興センター、鶴岡商工会議所、ハローワーク等関係機関が連携して実施する中高生等を対象とした研修会・相談受付などの成果や職業体験で出された希望・感想などを、企業側にフィードバックする仕組みを作るなど、マッチング機能を高める工夫が必要と考える。そうしたことから、高校生の就職率と離職率などの実態の他に、検討されている行政施策などがあれば合わせて情報提供して欲しい。</p> <p>・ <u>事業者への外国人を含めた雇用に関する支援施策の情報提供や相談機能について</u></p> <p>現在、出羽庄内国際村やにこふる等が相談窓口となっているが、今後とも機能充実に努めてほしい。また、地域</p>

				における良好な生活環境を構築するため、住民の理解促進に向けた自治会等の取り組みを誘導して欲しい。
② 外国人を雇用する上では、居住環境を整備すべきである。(鶴岡中央工業団地) 増加している空き家の活用を検討してはどうか。(大山工業団地)			○	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>国際化推進プランの多文化共生のまちづくりに位置付けられた多言語支援、生活環境の充実及び居住環境の整備に向けた各課横断の一元的な支援について</u> (空き家、市営住宅等の活用、自治組織含む地域コミュニティ等) <p>現在、外国人留学生 12 人に対し市営住宅 6 部屋を提供しているが、今後の需要に応じて、市営住宅の更なる活用を検討して欲しい。(居住環境の整備、生活サポート等)。</p>
③ 外国人実習生の受け入れに対する助成制度の確立を望む。(大山工業団地)			○	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>国、県等の制度活用や独自支援策、また事業者間の相互協力により行う外国人の職種ごとの職業訓練について</u> <p>一部の管理団体から、技術習得のための職業訓練に対し財政的支援があれば、との声もあることから、広範囲に助成制度に関する聞き取り</p>

				<p>調査を行うなどニーズ把握に努めて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>鶴岡商工会議所の外国人材受入れ相談窓口に加え、出羽庄内国際村などへの相談窓口機能の拡充について</u> <p>鶴岡商工会議所では、外部の専門家による相談対応(鶴岡ビジネス応援隊事業)を行っており、また、出羽商工会では、相談対応から、受入れ先の企業への指導や受入れ後の監査など一切の一連の対応を行っている。それぞれの取組みの実態と現在検討されている施策等があれば、合せて情報提供いただきたい。</p>
④ 中途採用への助成制度については、使いやすい制度として充実すべきである。(鶴岡中央工業団地)			○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の採用活動に関する補助金制度について、情報提供・周知徹底を図る必要がある。
⑤ 従業員のスキルアップのための各種資格取得について、助成制度を検討すべきである。(鶴岡東工業団地)			○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庄内産業振興センターでは、人材育成・スキルアップ事業で令和4年度に92名が受講するなどの実績があるようだが、受講者のその後の活躍状況や資格のニーズなどの

				調査結果を踏まえ、資格取得やキャリアアップに関する支援制度の見直しを検討する必要がある。
⑥ 大学や専門学校へ進学する前に、職業目標を持たせるための学ぶ機会を作るべきである。 (鶴岡中央工業団地)			○	<ul style="list-style-type: none"> ・県と市では、市内中高生を対象にした職業体験事業「ワクワクワーク」を実施しており、また、商工会議所では、高校2年生向けに職業観醸成セミナーを開催し令和4年度は126名が受講している。今後は、受講者の意識調査も合わせて行うなど、事業内容や参加範囲などを再検討する必要がある。
⑦ インターンシップの受け入れには、インターンシップに関するコンサル的な指導が必要だと思う。(鶴岡東工業団地)			○	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の職業体験事業等と連動しながら、企業とタイアップできる人材が必要でないか。 ・市のコーディネーター支援によるオンラインインターンシップ導入事業の効果等を情報提供し、取り組みの拡大を図ってはどうか。
⑧ インターンシップを工業団地として受け入れたい。広報として、鶴岡市のホームページの活用も検討してほしい。(大山工業団地)			○	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に受け入れ企業を募るため、広報つるおかや市のホームページを活用するなど、分かり易い情報提供が必要

					である。
【災害時への対応等について】					
⑨工業団地内の大雨時の冠水対策を推進してほしい。(鶴岡中央工業団地内、鶴岡東工業団地)			○		・市が実施する団地周辺の冠水対策事業の進捗状況や計画、また整備改修等の情報を周知していく必要がある。
⑨災害発生時の避難場所の確保が課題である。(鶴岡東工業団地、楡引工業団地)			○		・従業員等の防災意識の啓もうと対策、安全な避難場所の確保と連絡体制の整備などについて、市と連携した対応が必要である。
⑩災害時の非常品備蓄への支援をお願いしたい。小規模企業が数社まとまって対応したい。(鶴岡鉄工団地、楡引工業団地)			○		・災害時における企業への支援策や企業間の連携体制などについて、市との事前協議が必要である。
【交通関連について】					
⑪工業団地内に信号機が2箇所(鶴岡警察署前、ヤマダ電機前)あるが、交通渋滞が発生している。鶴岡第2中学校の通学路にもなっているため、改善が必要であると考え。(鶴岡東工業団地)			○		・工業団地内における通勤、通学時等の歩行者の安全確保について、現状と課題を踏まえた市との協議が必要である。(信号機の設置や通学路の安全確保など)
⑫工業団地へのアクセス向上や魅力向上のためにも、工業団地内を廻る公共交通(バス)を検討してほしい。(鶴岡鉄工団地、楡引工業団地)			○		・循環バス等、工業団地内での公共交通の可能性について協議の必要がある。

<p>【施設整備等について】</p> <p>⑬工業団地内の用地容量が一杯であり、事業拡張や駐車場の確保も難しい状況である。</p>			○	<ul style="list-style-type: none"> 工業団地全体の用地状況に係る情報提供について ホームページやメルマガなどを活用し、企業向けに空き地などの用地情報を提供するとともに、市内企業の適時・適切な用地需要の把握が重要である。また、議会(産業建設常任委員会)に対して公表可能な範囲で情報提供してほしい。
<p>⑭現在使用している水は上水道であるが、工業用水の導入を整備してほしい。(大山工業団地)</p>			○	<ul style="list-style-type: none"> 工業用水については地下水等の水源や管路、浄化施設など整備費用と供給水量の規模が見合わず断念した経過もあるようだが、用水需要量の増加等をみながら対応していく必要がある。
<p>⑮工業団地内の施設補修等への助成制度を作してほしい。(鶴岡東工業団地)</p>			○	<ul style="list-style-type: none"> 工場の施設補修は各企業の経営活動において対応するものであるが、国等の有利な資金貸付支援制度などの情報提供を行っていく必要がある。
<p>【その他】</p> <p>⑰工業団地内の除雪は9時以降であるため、早い時間の対応を要望する。(大山工業団地)</p>			○	<ul style="list-style-type: none"> 建設部土木課と協議が必要である。

<p>⑱工業団地内に保育所を設置したい。(大山工業団地)</p>			○	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ把握と可能性について健康福祉部と協議が必要である。
<p>⑲鶴岡市の新産業団地の設置は、地元中小企業にとっては、雇用の面で心配がある。 新産業団地についての今後の展開等について説明をしてほしい。 (大山工業団地)</p>			○	<ul style="list-style-type: none"> ・新産業団地の進捗状況と見通しや計画等に関する説明の場が必要である。
<p>⑳工業団地内では、未婚率（男性）が高い。 出会いのための親睦会、交流会を実施しているが、運営面での難しさがある。(鶴岡東工業団地)</p>			○	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と事業実績のある行政が連携して婚活支援事業に取り組んでいく必要がある。

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの